




## ●高崎市移住支援金

本市への移住を促進するため、東京圏から本市に移住した東京23区の在住者・在勤者のうち、仕事を変えずにテレワークをしている方や本市にゆかりがある関係人口などの要件を満たした方に移住支援金を支給する（世帯100万円、単身60万円、子育て加算30万円）。

**おの さとこ**  
**小野 聡子 (公明党)**  
 烏川かわまちづくりの今後のあり方  
 運転免許証自主返納奨励事業




**質問** 烏川かわまちづくりのエリアを、繰り返し訪れたくなる「日常的に利用できる場所」とするため、共用型キッチンを設ける考えは。また、恵まれたロケーションを生かし、歩きたくなる水辺空間を創出すれば、日常的な運動機会を生み、健康づくりに寄与すると考える。回遊性向上とどう連動させるのか。

**答弁** 日常的な交流の場としての活用を検討し、にぎわいの創出に努めたい。また、桜観音橋や高松歩道橋との接続等により中心市街地との回遊性が向上し、健康増進にも寄与すると考える。

**質問** 運転免許証自主返納奨励品について、現在のバス回数券やタクシー利用券に加え、生活実態に応じた多様な奨励内容を検討できないか。

**答弁** 高齢者の交通安全と公共交通の利用促進が目的のため、選択肢に商品券等を加える考えはないが、より良い制度となるよう研究したい。

**たかはし じゅん**  
**高橋 淳 (新風会)**  
 高崎市における自治体DXの推進  
 高崎市民スポーツパーク（仮称）の整備状況




**質問** 限られた人的・財政的資源の中で行政サービスの質を維持・向上させる必要があるが、本市のDX戦略の進め方は。

**答弁** デジタル技術の活用により、住民の利便性の向上と業務の効率化を図り、行政サービスのさらなる向上に取り組んでいる。新設するデジタル推進課は、DXを進める旗振り役として組織横断的な調整を行い、全職員が関わる課題であるという認識を醸成する役割を担っていく。

**質問** 令和9年度に供用開始予定の高崎市民スポーツパーク（仮称）の施設は。

**答弁** 施設の一部、グラウンドゴルフ場7コース、パークゴルフ場2コースと、それに伴い駐車場300台、男女別トイレの供用開始を予定している。阿久津水処理センター側の進入路から来場するよう案内標識などで誘導し、周辺生活道路への影響の抑制に努めていく。

**なかむら み**  
**中村 さと美 (公明党)**  
 クビアカツヤカミキリ被害拡大防止  
 に向けた総合的な取り組み




**質問** クビアカツヤカミキリによる果樹への被害状況は。また、被害対策として、高圧洗浄機を用いた粗皮削りが効果的と考えるが、購入補助への考えは。

**答弁** 令和6年度は桃55本、プラム9本、梅20本で、年度により増減はあるが被害は広がりつつある。また、粗皮削りについては多くの手間と幹や枝を傷めるリスクがあり、まずは有効性や実効性について検証する必要があると考える。

**質問** 果樹以外にサクラにも被害が多く出ているが、公園や街路樹、学校における被害の確認方法等と被害状況は。

**答弁** 被害の確認方法等は、樹皮の隙間や根元に排出される幼虫特有の木くずとふんが混ざったフラスの有無を目視にて確認、点検している。被害は公園や街路樹、学校においても年々増加傾向となっている。

**おさかべ しんじ**  
**長壁 真樹 (新風会)**  
 室田小学校統合に向けての  
 取り組みと地域づくり




**質問** 室田地区3小学校の統合に伴い整備する下室田小学校正面入口の道路整備の状況は。

**答弁** 現在、道路の測量、境界確定、設計を進めている。工事は令和8年度に入ってから、安全に配慮して夏休みを中心に行う予定である。

**質問** 放課後児童クラブも3小学校区のクラブが統合するが、施設の整備や運営体制は。

**答弁** 施設は現在の下室田小学校のクラブの建物を使用する予定であるが、統合後の利用児童数に対応できる保育面積を確保するため、建物南側に増築工事を予定している。また、クラブの運営体制については、現在の3クラブの運営委員を中心に協議を始めている。異なる開所時間や保育料、運営規定を統一するための協議のほか、現在勤務する支援員らを統合後も継続して雇用する方針であることから、勤務条件等の整備についても協議していく予定である。

**まるやま さとる**  
**丸山 寛 (公明党)**  
 中心市街地のまちづくり  
 本市における企業の農業参入




**質問** 近年、中心市街地の高層マンション建設が活発であるが、建設数や首都圏からの転入状況、移住支援金の効果および人口の推移は。

**答弁** 平成28年以降に建設された中心市街地の10階建て以上のマンションは12棟、総戸数は約1千戸である。高崎市移住支援金の効果も大きく、首都圏からの転入は約22%を占める。また、人口減少が進む中、中心市街地の人口は平成28年と比べ502人の増加となった。

**質問** 企業から農業参入の相談があった場合の支援の概要は。

**答弁** 農地確保の積極的な支援、田畑転換などの手続きのサポートのほか、国・県の支援制度や本市独自の農地再生推進事業補助金、6次産業化推進事業補助金、ブランド商品開発事業補助金など、利用可能な支援策を丁寧に説明し、農業参入企業の支援に努めている。

**いとう あつひろ**  
**伊藤 敦博 (日本共産党)**  
 子ども置き去りの早朝開門




**質問** 早朝開門は教員に早朝出勤を求めないということだが、子どもたちを安全に預かるために、見守り員の配置が必要と学校長が判断した場合、財政措置も含め市が支援する考えは。

**答弁** 現在、既に7時15分や30分に開門している学校もあるが、見守り員を配置せずとも支障なく学校運営がなされていることから、市としては見守り員を配置することは考えていない。

**質問** 教職員や保護者の反対意見を押し切ってまで早朝開門を強行しようとする理由は。

**答弁** 子育てしながら働く家庭を社会全体で支援していくことは社会的な命題であり、学校施設も無縁ではない。現在も先生の出勤時間よりも前に子どもが登校し、校務員だけで開門している実態があることも踏まえて、早く登校させたい家庭の事情や仕事の事情にできる限り協力しようという考えである。

**たかはし みなお**  
**高橋 美奈雄 (市民クラブ)**  
 烏川かわまちづくり整備事業  
 更生保護における生活支援




**質問** 高松地区かわまちづくり事業全体の予算規模は。また、その中で国の都市構造再編集中支援事業等はどの事業が適用になるのか。

**答弁** 予算規模はレストハウス本体工事費で9億円を見込み、周辺整備工事と合わせると10億9,220万円となる。このうち、レストハウス本体工事および歩行者通路設置工事については都市構造再編集中支援事業対象となるため、国庫補助を活用した財源の確保に引き続き努めたい。

**質問** 犯罪や非行の防止等にはさまざまな支援があるが、必要な支援を受けやすくするためにどのようなことが必要と考えるか。

**答弁** 伴走型支援等により孤独、孤立を防ぐことが重要と考え、更生保護団体等だけでなく、福祉等の本市の関係部署や他の専門機関が横断的に連携し、個々の状況に応じた包括的支援策を講じるネットワークの形成に努めたい。

**たにがわ るみこ**  
**谷川 留美子 (超党派の会)**  
 0～2歳児の保育料  
 保育施設の副食費



**質問** 本市では第2子の保育料をおおむね半額、第3子を無料にしているが、第2子が半額になるには第1子の在園が必要である。そこで半額措置等におけるきょうだいの年齢制限を撤廃し、さらに保育料を段階的に無償化できないか。

**答弁** 本市は、国の基準より大幅に減額する独自の軽減措置を講じている。年齢制限の撤廃や無償化には、多額の財源が必要となるため、現時点では現在の軽減措置を継続し、多様な子育てニーズを捉えた支援を引き続き研究したい。

**質問** 本市では、小・中学校の給食費が4月より無償となる。保育施設において、3歳児以上の副食費も無償化を目指すべきだが、見解は。

**答弁** 本市は独自に施設の在籍要件や年齢制限をなくし、第3子以降の副食費無償化を行っている。3歳以上へ拡充の場合、多額の財源が必要となるため国の動向を注視しつつ研究したい。